

## 2023 年度

### ニチイキッズ穂高保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月22日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を職員が理解し、見通しを持った保育計画を立案し、子どもが自ら遊びを自由に選べる環境を用意した。
子どもの発達援助	一人ひとりの成長・発達を捉え、状況に応じた援助を行った。遊びの面では、その時期の発達に見合った環境を整え、子ども達の表現したい気持ちや遊ぶ意欲を引き出すようにした。今後も応答的保育を大切にしていきたい。
保護者に対する支援	一人ひとりの保護者の気持ちや考えをありのまま理解し、受け止めるようにした。また、普段から気軽に話せる雰囲気作りも心がけ、子どもの成長を一緒に喜んだりした。
保育を支える組織的基盤	計画的に研修に参加し、専門性の向上が図れるよう努めた。研修後の報告会や職員会を行う中では、保育の課題点に対して意見を出し合ったりして共通理解を深めた。専門性の向上に今後も務めていきたい。

総評
<p>焦らずゆとりある保育を心掛けてきた。その事が子ども主体の保育にも繋がった。遊び環境の中では、子ども自らが遊びを選択し自由に動けることを意識し、どのように遊びを展開して行くかを保育士も子どもと一緒に楽しく遊ぶ中で大切に見守りながら保育をした。</p> <p>季節の遊び、固定遊具に触れて遊ぶ等、様々な活動を通して友だちとの関わりが見られたりそれぞれに力を蓄えた。食育活動でも子どもが主体的に参加できるよう身近にある食材を使った計画を立て楽しんだ。お弁当に見立てた給食・ピュッフェ給食と楽しい企画も実践し食への関心がより高まった。保育参加の実施を行った。積極的に参加して下さる家庭が多く有難かった。保育を体験していただくことで保育園の生活を知り園生活への理解を深めて頂く良い機会になった。子どもの思いや気持ちのくみ取りでは、対応に悩むこともあったが、肯定的な言葉を伝えたり、気持ちの受け止めをする中で子どもが安定していく姿を沢山捉えることができたので今後も丁寧に寄り添っていきたい。</p>